

地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和2年5月21日)

- 大山における夏山遭難救助訓練の実施について
..... 1
(生活安全部地域課)
- 子どもと高齢者の交通死亡事故抑止対策について
..... 2
(交通部交通企画課)

警 察 本 部



大山における夏山遭難救助訓練の実施について

令和2年5月21日
警察本部
(生活安全部地域課)

大山及び大山山麓を管轄する警察署員を対象として、山岳遭難発生時における迅速かつ的確な救助活動を実施するため、実践的な救助技能の研鑽を図る。

1 訓練日時、場所

令和2年6月2日(火)
国立公園「大山」

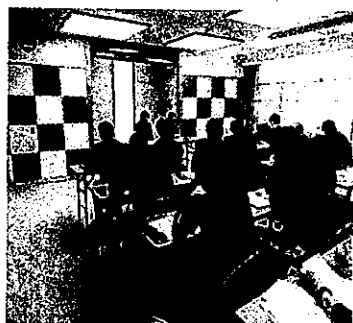
2 訓練参加者

鳥取県警察本部生活安全部地域課	3人
鳥取県警察航空隊及び機動隊(航空レンジャー)	5人
中国四国管区警察局鳥取県情報通信部	2人
警察署(琴浦大山、米子及び黒坂警察署員)	7人

3 主な訓練内容

- (1) 山岳救助活動の基礎教養
- (2) 山岳装備資機材及び通信機器の取扱訓練
- (3) 負傷者の救護、搬送訓練
- (4) ヘリコプターによるホイスト(つり上げ)救助訓練
- (5) 小型無人機(ドローン)を活用した救助訓練

昨年の訓練状況



部外講師による講義



負傷者搬送訓練



小型無人機を活用した訓練

4 県下全域の山岳遭難発生状況(過去3年)

区分	H29			H30			R元		
	発生 件数	遭難者数		発生 件数	遭難者数		発生 件数	遭難者数	
		死者	死者		死者	死者			
発生状況	25件	26人	3人	22件	22人	1人	26件	28人	1人

5 新型コロナウイルス感染症対策

本年の訓練は、新型コロナウイルス感染症対策として、宿泊を伴わない日程とし、マスクの携行、手洗い、うがいの励行、3密(密閉、密集、密接)の回避などを徹底し、訓練を実施する。

子どもと高齢者の交通死亡事故抑止対策について

令和2年5月21日
警察本部
(交通部交通企画課)

1 交通事故発生状況（4月末現在）

前年同期比で、人身事故件数、交通死亡事故件数、死者数、負傷者数は全て減少している。

	本年	前年	増減数	増減率		鳥取	郡家	智頭	浜村	倉吉	米子	境港	黒坂	高遠隊	合計	
人身事故件数	227	250	-23	-9.2%	本年件数	80	3	1	1	22	7	93	14	2	4	227
死亡事故件数	3	9	-6	-66.7%	前年件数	67	2	6	11	36	8	100	11	5	5	250
死者数	3	9	-6	-66.7%	増減数	+13	+1	-4	-10	-14	-1	-7	+3	-3	-1	-23
負傷者数	278	296	-18	-6.1%												

2 子どもの交通死亡事故抑止対策

(1) 交通事故死傷者数の推移

昨年の死傷者数は49人で前年から大幅に減少し、過去10年で最少（子どもの死者は0人）である。

	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年
死傷者数	136	144	81	106	88	64	81	67	77	49
全死傷者に占める割合	5.9%	6.9%	4.8%	6.4%	6.2%	5.0%	6.4%	5.6%	7.3%	5.0%

(2) 交通事故死傷者数（4月末現在）

死傷者数は20人（前年同期比+7人）で、そのうち自動車同乗中17人（前年同期比+11人）、自転車運転中が1人（前年同期比-4人）、歩行中2人（前年同期比±0人）である。

(3) 主な対策

- 歩行者に対する交通ルールの浸透のための取組
幼稚園、小学校等と連携して、「横断の仕方」の教育を重点的に実施する。
- 自転車に対する交通ルールの浸透のための取組
スタントマンによる事故体験型交通安全教育や、自転車シミュレーターを活用した交通安全教育を推進する。
- チャイルドシート着用率向上に向けた取組
交通安全教室、商業施設等におけるチャイルドシート着用広報等を実施する。

3 高齢者の交通死亡事故抑止対策

(1) 高齢者の交通事故件数の推移

高齢者が第1当事者となった事故の割合は年々増加し、昨年は30.1%であった。

	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年
発生状況	発生件数	337	309	248	250	241	250	242	226	242
	構成率	18.6%	18.5%	17.9%	19.5%	20.6%	23.7%	24.5%	23.4%	25.3%
被害者数	死者数	19	18	16	11	20	21	11	17	8
	構成率	45.2%	69.2%	53.3%	44.0%	58.8%	55.3%	64.7%	65.4%	40.0%
負傷者数	負傷者数	370	294	262	277	256	217	224	220	192
	構成率	16.3%	14.2%	15.8%	17.1%	18.3%	17.4%	18.0%	18.9%	18.7%

(2) 交通事故発生状況（4月末現在）

高齢者が第1当事者となる事故は65件（前年同期比-6件）、高齢者死者数1人（前年同期比-4人）、高齢者負傷者数50人（前年同期比-18人）である。

(3) 主な対策

- 高齢運転者による事故防止対策
高齢者の複数回事故当事者に対して、事故防止に関する安全指導等を実施する。
- 参加・体験・実践型の交通安全教育
交通安全教育車「ことぶき号」等による参加・体験・実践型の交通安全教育を実施する。
- シルバー・セイフティ・インストラクターによる講習等
シルバー・セイフティ・インストラクターによる交通安全教育の講習等を実施する。

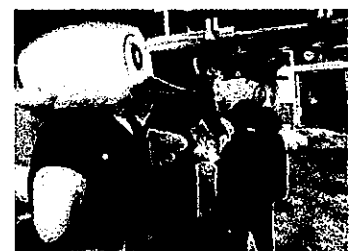
4 その他

(1) 新入学児童等に対する交通安全啓発広報

4月8日、鳥取市立久松小学校において、本部長等により新入学児童に対する交通事故防止の呼びかけを実施した。

(2) 飲食店街における飲酒運転根絶広報

4月15日、本部長・警務部長等により鳥取、倉吉、米子市内の飲食店街を巡回し、飲酒運転根絶に向けた街頭広報を実施した。



本部長による新入学児童への呼びかけ